

# ご紹介 緩和ケアチーム

外科部長  
篠原 正博

中央病院の緩和ケアチームは、2006年5月に発足しました。がんに関連した疼痛はもちろんのこと、精神的、社会的、経済的など様々な問題を、いろいろな分野のチーム員が意見を出し合い、解決に向けて討議し、患者様、家族の方の支えになることを目的としスタートしました。現在、小生がリーダーを務めておりますが、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉相談員からなる計15名です。

チームの主な活動は

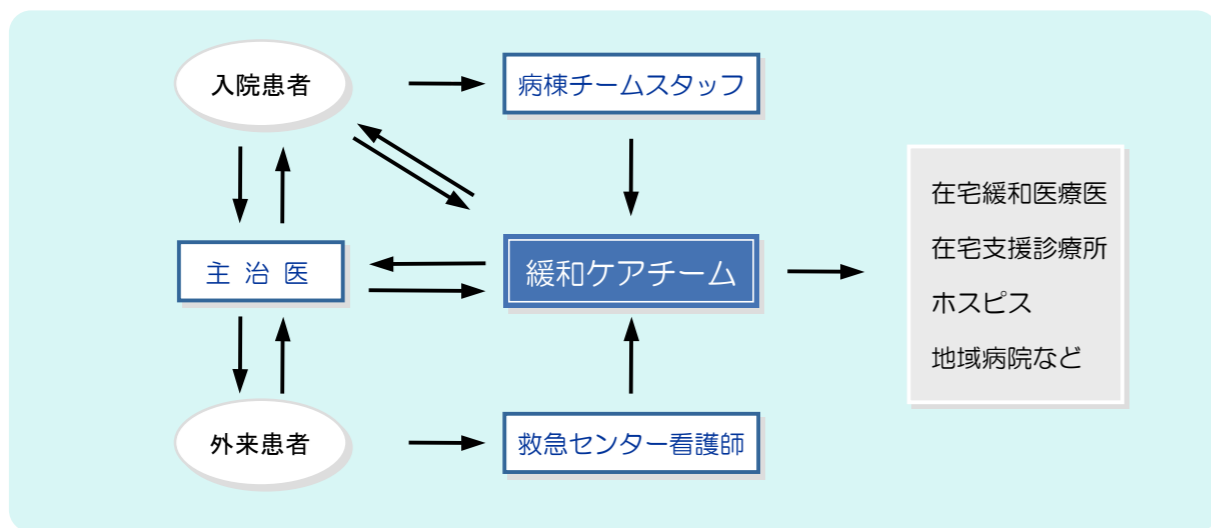
1. 入院や外来患者さんの苦痛症状の緩和(主治医への助言、助力)
  2. 社会的問題の解決相談や家族支援
  3. 症例の検討会
  4. 在宅やホスピス医療や療養型施設への移行の支援
- ありますが、治療の主体は主治医であり、特に疼痛緩和に関しては、主治医とうまく連携をとりながら、患者－主治医の

関係を保ちつつ、チームも共に加わり討議し解決していくという姿勢で取り組んでおります。(図1)

各病棟にチームナースがおりますので、疼痛制御に難渋している症例や、不安や抑うつなど、多忙な主治医では見過ごされそうな細かい症状をも捉え、チーム独自の評価シートを用いて評価や検討を行っております。チーム回診を行い、経過や成果を確認し、患者さんの満足度を読みとり、カンファランスでさらに検討し、一例一例研鑽しております。

また、在宅緩和医療への支援も行っており、これまで、多くの先生方に大変お世話になりました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。現在のところまだ、入院患者さんが中心ではありますが、在宅患者さんや在宅緩和医療に取り組んでおられる先生方との連携をさらに深め、努力して参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

図1 下関市立中央病院の緩和ケア体制



患者様のご紹介・検査予約・お問い合わせについては

## 地域医療連携室

083 224-3860 083 224-3861  
FAX

### 編集後記

地域の先生方のため、新年度に県内外から赴任した諸医師を特集としました。本県は、幕末に攘夷(下関戦争)をしながらも、密留学(長州ファイブ)させ、「外」に目を向け功藩となりました。当院でも「外」の人材を迎え、さらに人種の坩堝といわれる米国のように多様な意見が役立っていますし、また諸大学の医師が協調して診療しています。新進気鋭の医師が多数、赴任しましたので引き続き患者様紹介をお願いします。

吉田 順一



2008年 Vol. (平成20年) 4/15 31  
下関市立中央病院  
広報年報委員会  
〒750-8520 下関市向洋町 1-13-1  
083-231-4111  
FAX 083-224-3838

e-mail cokeieik@city.shimonoseki.yamaguchi.jp ホームページ http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/byoin/

目次	1. 巻頭言 副院長 松尾 憲一 …… 1	3. 新任紹介 …… 2・3
	2. 登録医の声 井町産婦人科医院 井町 正士 先生 …… 1	4. ご紹介「緩和ケアチーム」 外科部長 篠原 正博 …… 4

### 巻頭言

## 押し上げる力と抑制する力と 副院長 松尾 憲一

科学の進歩はとどまるところを知らず、遺伝子の分野でも大きな変革が起きていると、つい最近耳にした。わたしは、DNAがRNAを介して酵素・蛋白を産生し、それが生命現象に関与していると教えられてきた。これまで研究を行う過程で、蛋白を作らないRNAが沢山見つかったが、それらは実験の精度の悪さに起因するものでいわばゴミであろうと認識されてきたという。が、実は蛋白を作らないRNAが実際に沢山あって、しかも種々の機能を持って生命現象にかかわっていることが最近わかってきたという。今までDNAが主役でRNAは脇役に過ぎないと考えられてきたものが、どれが主役かわからなくなってきて、「RNAルネッサンス」とも言われているらしい。医学においても遺伝子治療薬が次第に勢いを増しているが、最近是一般薬の開発ですら350億円以上かかるとの報告があり、

ベンチャービジネス的なリスクも背負っている。その帰結の一例として、昨年、薬価収載された血管新生阻害剤は抗がん剤と併用するのだが、医療費は月に約100万円もの高額になる。それらを使うのは、というより症例によっては使用を避け得ない立場にあるのが、医療の進歩を傍観することを許されない公的病院であると言える。薬だけとつても、医療費を押し上げる力(医療の進歩と表裏一体をなす)は、強力である。その力と医療費抑制策、それらの力の狭間にあり、巡りめぐって強く圧迫されているのが、病院経営である。両者のせめぎ合いの緊張はどのような極点を迎えるのであろうか。カタストロフィーだけは避けねば。ところで、上記の高額な遺伝子治療薬の病院にもたらす純利益はどの程度だと思いますか。

### 登録医の声

井町産婦人科医院

院長 井町 正士 先生



平成11年に新下関で産婦人科医院を開業して9年間の経過しました。今春から10年目を迎えます。下関市立中央病院には8年間お世話になりました。旧病院から現在の病院に移転した当時、とても忙しかったことを懐かしく思い出します。

さて、近年医療を取り巻く状況は厳しくなり、産婦人科なかでも産科医療に関しては、より厳しいことを痛感します。少子化および晩婚化のため、リスクの高い分娩が増えてきました。リスクの高い分娩が増えるにつれ、病診連携が大切になります。ただ、残念ながら産科については、中央病院にはNICU

がなく、産婦人科の当直体制がありません。そのため、早産や夜間の救急などがお願いできないので残念です。

一人で開業しますと、相談できる方がおらず、困ることが多々あります。そのような時、中央病院の先生方に気軽に電話して相談できることは、大変助かります。これからもよろしくお願いいたします。また、病診連携室にはお世話になり、大変感謝しています。今後の中央病院のさらなる発展をお祈りしております。

# 新任 紹介



## NewFace

### 外科



医 長  
いしむつ としゆき  
石 光 寿 幸

昭和59年に高知医科大学を卒業後、九大第一外科に入局。1987年に1年間当院で勤務させて頂きましたが、それ以来22年ぶり2度目の赴任となりました。前回の勤務は旧病院の最後の年でしたので、やっど“新病院”に勤務でき感慨ひとしおです。地元出身で、思えば中学・高校時代に今病院のあるこの場所で野球をやっていました。専門は乳腺・消化器外科です。残りの外科医人生を地元の方々のがん診療に捧げ、定年まで精一杯がんばりたいと思います。

### 循環器科



医 師  
かさはら あきこ  
笠 原 明 子

### 腎臓内科



医 師  
そのだ かずひろ  
蘭 田 和 弘

### 整形外科



医 師  
さとう たいし  
佐 藤 大 志

### 脳神経外科



医 長  
こ が ひろみち  
古 賀 広 道

この度、平成20年4月1日付けで脳神経外科へ着任いたしました。平成3年宮崎医科大学を卒業後に九州大学脳神経外科学講座へ入局し、その後は九州大学および関連病院にて臨床経験を積んでまいりました。その間、九州大学、米国のUCSF Brain Tumor Research Centerでは脳腫瘍に対するドラッグデリバリーの研究を行ってきました。当院でも脳腫瘍の患者さんに対して積極的に関与させていただきたいと考えています。また前任地、堺市では脳血管障害に対する手術症例数では日本でも有数の病院に勤務させていただきました。脳腫瘍のみならず脳血管障害についても大田医長とともに地域医療に貢献させていただきたいと考えています。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

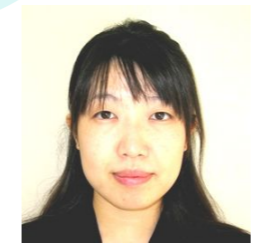
### 麻酔科



医 長  
おおたけ かずのぶ  
大 竹 一 信

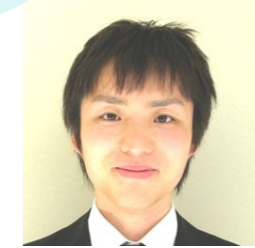
平成6年に山口大学を卒業し、山口大学麻酔科に入局、倉敷中央病院、山口大学病院、小倉記念病院を経て、このたび下関市立中央病院に勤務させていただくことになりました。前任地の小倉記念病院では、心臓血管外科手術の麻酔・集中治療管理が中心でしたので、こちらでも積極的に取り組んでいきたいと考えています。下関に住むのは初めてですので、早く慣れてお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 眼科



レジデント  
かなうみ みわ  
金 海 美 和

### 外科



レジデント  
あかがわ しんじん  
赤 川 進

### 外科



レジデント  
しんかい けんたろう  
新 海 健 太 郎

### 心臓血管外科



医 長  
たにくち けんいちろう  
谷 口 賢 一 郎

平成9年に九州大学を卒業後、同大学病院心臓外科に入局し、九州大学病院、飯塚病院などの勤務を経て、この度当院に勤務させていただく事となりました。下関の地域医療に貢献できるように精一杯努力致します。宜しくお願い申し上げます。

### 心臓血管外科



医 長  
きむら さとし  
木 村 聡

平成10年に九州大学卒業後、浜の町病院一般外科、九州大学病院、九州医療センター、飯塚病院、熊本市市民病院、下関市立中央病院、北九州市立医療センターにて臨床経験を積ませていただいた後に、平成16年より九州大学大学院にて研究に従事しておりました。臨床医としては4年ぶりに、当院には5年ぶりに復帰いたしました。早く、日常診療業務に慣れ、下関の地域医療に貢献できるように頑張ります。宜しくお願い致します。

### 消化器科



レジデント  
ぬき よういちろう  
貫 陽 一 郎

### 消化器科



レジデント  
はらだ ゆうじ  
原 田 裕 士

### スーパーローテート



おおた けいいち  
大 田 恵 一

### 産科婦人科



医 長  
たなか ひろまさ  
田 中 浩 正

産婦人科の田中浩正です。平成10年に川崎医科大学を卒業後は、同学産婦人科学教室に入局し臨床研修を行ってまいりました。九州大学産婦人科学教室には平成17年に入局し、平成18年より北九州市立医療センターで周産期医療(母体・胎児管理)を中心に行っていました。諸先生方の御期待に副えるよう努力して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

### スーパーローテート



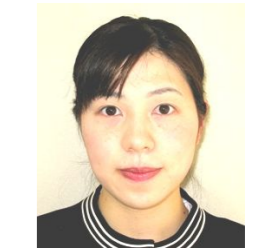
きたざき まみ  
北 崎 真 未

### スーパーローテート



なかしゃ あきお  
中 舎 晃 男

### スーパーローテート



ひらもと まり  
平 本 麻 莉